



大念珠繰り

# 観音

平成23年 3月  
第45号

発行  
八ヶ所八十八国新島  
番第二十三霊場  
宗言真  
寺観正 院眼慈 行弘  
小出真真

加持といつば如来の大悲と衆生の信心とを表す。  
 仏日の影、衆生の心水に現ざるを加と曰い、行者  
 の心水能く仏日を感じるを持と名付く。  
 (即身義)  
 加持とはみ仏の大悲と私達の信心の關係

## 朝に礼拝、夕べに感謝

朝、お仏壇の前で、仏さまに手を合わせ、今日  
 一日の平穩を祈り、夕方、またお仏壇の前に坐り、  
 一日無事に過ごせたことを、仏さま、ご先祖、そ  
 して今は亡き人に感謝する……そのような日暮ら  
 しを送ることが出来る人は、きつと幸せです。そ  
 れによって、その人は心の安らぎを持つことがで  
 きるからです。

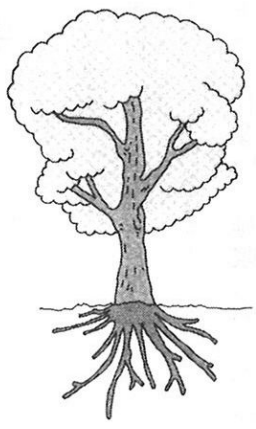
たとえ悲しいことや、イヤなことがあつたとし  
 ても、仏前にお香を供え、合掌すれば、辛い気持  
 ちを静めたり、自分を反省することができるでし  
 よう。

合掌は、心を散乱させず、一つに集中させるこ  
 とができます。また相対する人への敬意を表しま  
 す。仏前の合掌礼拝は、ご本尊や三宝への帰依  
 (心から信仰する)の表しであり、崇敬と感謝と

祈りの表しです。さらにご先祖や、亡き人に対す  
 る感謝と祈りです。

「枝葉栄えんと欲せば、先ずその根を養うべし」  
 という言葉があります。

根がなくては木は立ちません。根が枯れてしま  
 うと、幹も太らず、枝葉は茂らず、春が来ても美  
 しい花を咲かせることはできません。根は先祖で  
 あり、幹は両親、そして枝葉は子孫です。父母・  
 祖先を敬い供養することは、その形見である我が  
 身を大切にすることであり、子孫によく受け継が  
 れるものになります。





観音大祭紫燈護摩(火渡り修行)



鎖修行(石鎚山)



御詠歌(高野山にて)



石鎚成就社にて



地藏祭り(演奏)

# 阿字

阿字はなんの字？

大日如来のしるしです。

大日如来はどんな仏さま？

宇宙もまだ生れない 無限の過去からあ

り

宇宙もいつか消える 無限の未来にもな

くならない。

すべて生けるものは、個のいのちとして

生まれてきて、

やがて個のいのちとして無くなるときに、

そのいのちはどこへゆくのでしょうか？

出てきたからには帰るところあり、

いのちのふるさとから生れ出で、

いのちのえにしの尽きるとき、

いのちのふるさとに帰る。

位牌に刻まれた阿字は

そのしるしです。

〈阿字の子が阿字のふる里 立ち出でて

また立ち返る 阿字のふる里〉(弘法大師)

# くちではなあ

最近、相田みつをさんの書が注目されていて、書店でもよく見掛け  
るし、「ああ、私もその本もっているわ」と答える若いお方もおられ  
るのは嬉しいことである。

相田さんの言葉（詩）とその書体とは切っても切れない相互作用を  
している。躍動する文字の一つ一つに生命が吹き込まれていて、訴え  
かけてくる。あの書体だからこそ、内容に説得力があるのだと思う。  
一見稚拙に見えて、誰でも書けそうに思うが、なかなかあのように自  
由には書けないと思う。相田さんは正式に書を学び、中国の書の大家  
の研究もしておられる。楷書を書いても実に綺麗で達筆である。

最近読んでショックを受けたのは「くちではなあ」と言う言葉であ  
る。正にその通り、我々は色々と、うまいこと、相手の気に入ること、  
立派な公約、方針や覚悟、同情や  
親切、賛成や同調を口にするが、  
実行となると、さっぱり責任をと  
らない。腹を空かしているときは、  
一片の同情の言葉より、一つの握  
り飯を与えることだし、立派なこ  
とを言う前に先ず実践して見せる  
ことの方が大事である。

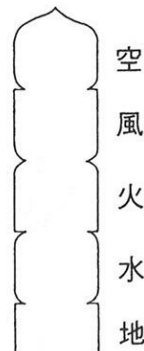


# 塔婆供養の功德

塔婆とうばとは、詳しくは「卒塔婆そとうば」と書き、古代インドの言語、サンス  
クリット語（梵語ぼんご）の「ストウーパ」から来たものです。

法事の時に建てるのは板塔婆で、頭部が独特の形をしています。が、  
これは上から宝珠ほうじゆ・半円・三角・円・方の五輪塔を模もしたものです。

五輪とは、空くう・風ふう・火か・水すい・地ちと  
いう、宇宙を構成する五つの要素  
をいい、またそのまま仏身を現し  
たものです。



今、その功德を述べると、

一、塔婆はそのままの仏様の御姿であるから、一基建立することは、  
仏像を一体建立するのと同等の功德がある。

二、塔婆を見ることは、人と仏様とは五輪（頂・面・胸・腹・膝）  
のすがた・かたちとして、根本において同じであることを教え、仏心  
の目覚めを促すはたらきをもっている。

三、塔婆を建てることにより、仏様に対する崇敬の念と、霊位に対  
する報恩と感謝の念を増すことができる。

四、塔婆供養は、回向するところの霊位を安楽の境界に導き、仏果  
を増す。

五、塔婆は、志すところの霊位のみならず、それを目にするものす  
べて（衆生しゆじやうもろもろの生き物）に同じく利益りやくを及およぼすことができる。



<http://www.shokanji.com>

正観寺HP（ホームページ）を  
開設いたしました。

「広島 正観寺 公式」と検索してみてください。

**墓地有**

1㎡ 60万円より  
※他宗派の方も可

**悩める人に**

まあ、熱いお茶でも飲みなされ。  
ゆつくりと風呂につかりなされ。  
蒲団を敷いてすぐに休みなされ。  
明日は好日でありますように：

**○平成二十三年度 年間行事予定**

- 一月一日～三日 修正会
- 二月三日 星祭（星供）
- 三月一日～二十四日 春季彼岸参り
- 三月十三日 観音大祭（火渡り修行）
- 四月十日～十二日 小豆島八十八ヶ所霊場巡拝
- 七月三日～四日 霊峰石鎚山参拝
- 七月二十三日～八月十五日 盆参り
- 八月二十一日 地藏祭・施餓鬼
- 九月一日～二十六日 秋季彼岸参り
- 十二月三十一日 年越祭

・毎月十八日に月並観音供（内護摩）  
（午前十時半）

十八日が祝日、日曜日の場合は、二十一日  
に月並大師供（内護摩）

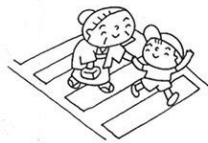
（午前十時半）

但し、大祭の為（二月・三月・八月）は無し

・御詠歌講習会（月一～二回程度）

**参加者募集**

- 一、平成二十三年四月十日（日）  
～ 十二日（火）二泊三日  
『小豆島巡拝』費用 三七、〇〇〇円
- 二、平成二十三年 年二回  
春（五月）秋（十月）二泊三日  
『本四国巡拝』費用 各五〇、〇〇〇円
- 三、平成二十三年七月三日（日）  
～ 四日（月）一泊二日  
『石鎚山参拝』費用 三三、〇〇〇円



※お問い合わせ

〒七三五―〇〇二九

広島県安芸郡府中町茂陰二丁目

二一八一四

TEL 〇八二―二八二―五六六二

FAX 〇八二―二八五―五五三〇

正観寺